

2013（平成25）年度

FD 研究部会活動報告書

第5号

徳島文理大学
徳島文理大学短期大学部

FD 研究部会活動報告書

目 次

1. はじめに	1
2. FD活動の内容	1
3. 研修会・講演会	2
4. 全学授業評価アンケート	3
5. 研究授業	4
6. 卒業生満足度評価アンケート	6
7. おわりに	8
8. 用語解説	9

資 料 編

1 FD研究部会会議	10
2 研修会・講演会	12
3 全学授業評価アンケート	16
4 研究授業	23
5 卒業生満足度評価アンケート	27

1. はじめに

「徳島文理大学 FD 研究部会」は、学士課程の FD 義務化を受け、全学的 FD 活動の推進・支援を目的として平成 19 年 12 月に設立された全学委員会の一つである。設立以降の活動の詳細は、「FD 研究部会活動報告書（平成 22 年 5 月創刊、以降年次刊行）」にまとめられている。本報告書（第 5 号）は、平成 25 年度（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）までの活動成果抄録である。

2. FD 活動の内容

FD 研究部会は、部会長、短期大学部を含む全学部より選出された部会委員に加えて両キャンパスの教育・研究支援グループ委員で構成され、月例の FD 研究部会において検討を加えた 4 項目（①研修会・講演会、②全学授業評価アンケート、③研究授業、④卒業生満足度評価アンケート）の活動を分担して行ってきた。（資料 1）

まず、FD 研修会・講演会は、要望の高かったアクティブ・ラーニングワークショップをテーマに複数回開催した。ご参集の先生方からは、満足度の高い評価をいただいたが、さらに多くの参加をいただくため、具体的な例示を取り入れるなど、より実践的な研修会の開催を増やす必要性を痛感している。また、周知方法の徹底についても検討したい。

全学授業評価アンケートについては、昨年に引き続き教員の学生へのフィードバックをオンライン Web 化した。今後、この新開示方式について、周知の徹底を図るとともに、開示方法の改善に向けて取り組んでいくこととしている。

研究授業については、「教員相互の授業参観」と位置づけ実施いただいている。目的は、他の教員の授業参観を行うことにより、自身の授業の改善に資することである。本年度の単独実施は 28 科目であり、加えて、どの授業も参観可能なオープンクラスウィークが、理工学部、薬学部と短期大学部で開催された。さらに、目標設定型の新しい研究授業の取り組みは、両キャンパスで各 1 件実施され、着実に多様化を進めていただいている。今後も、より良い方法を検討するとともに質的向上を図っていきたいと考えている。また、アクティブ・ラーニングに関連した授業を実施しておられる先生方の授業公開も、次年度の検討課題として積極的に進めていきたい。

卒業生満足度評価アンケートの目的は、入学から卒業までの学生生活全般についての調査結果をもとに、在校生及び今後入学してくる学生がより良い学生生活を送ることができるように改善を図ることにある。例年、卒業生満足度評価アンケートは学生から高い評価を受けているが、それに甘んじることなく、更なる改善が必要といえる。本年度は、継続性を担保しつつ、一部のアンケート項目を見直して実施された。この結果をもとに、ICT 等を活用した今後の実施方法をはじめ、様々な角度から検討を加え、改良を加えることが必要と考えている。

最後に、授業・学びの支援としての学内施設・設備（可動機・椅子、視聴覚機器、ホワイトボードなどの配置状況）について、効果的なアクティブ・ラーニングを同時に実施できる規模等の調査を開始したことを付記しておきたい。

3. 研修会・講演会

3-1 現状

FD活動とは、大学教育の質的な向上などを目的とした活動（取組）で、狭義では授業改善のための優れた教授法の普及活動と考えられており、その取り組み方は多岐にわたる。FD活動では個々の教職員がその重要性を理解し、それぞれの教育場面において継続的に自ら改善に取り組むことが重要である。平成25年度は、改善に必要な知識や技術を修得、普及するため、本学学内で研修会・講演会を2回実施した。（資料2-1）

第1回目が平成25年9月12日（木）で、徳島キャンパスを主会場とし、立川 明先生（高知大学 総合教育センター 准教授）をお招きして、「教えないで成績を上げるTBL（チーム基盤型学習）」という授業方法をテーマに講演をしていただいた。香川キャンパスには同時遠隔配信を行った。参加者数は、49名（徳島28名、香川21名）であった。研修後のアンケートは、33名から回答があり、「全体的に満足できるものだった」とする者が回収数比で84.2%、「どちらかといえば全体的に満足できた」とする者が同じく10.5%であり、これらを合わせると95%の参加者が好意的に捉えていた。

第2回目は平成26年2月14日（金）に、香川キャンパスを主会場とし、土持 ゲーリー法一先生（帝京大学 教授）をお招きして、「アクティブ・ラーニングを促す学習ポートフォリオのための授業設計」をテーマに講演をしていただいた。徳島キャンパスには同時遠隔配信を行った。参加者数は、88名（香川45名、徳島43名）であった。研修後のアンケートでは、「今後の授業改善のために大いに役立つ内容であった」とする者が回収数比で68%を占め、「参考にすべき内容がいくつかあり、まずまず良かった」とする者が32%であり、全員の回答者から好評を得た。また、自由記述欄には、今後の研修会・講演会や本学FD活動自体への要望・問題点など多数の建設的な意見が出された。

加えて、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）の研修プログラムのうち、本学以外の会場で開催されるプログラムを、徳島・香川の両キャンパスに同時遠隔配信形式で適宜紹介した。その他、「SPODフォーラム2013」やSPOD研修会の案内を学内教職員に配信し、参加への情報を提供した。（資料2-2、資料2-3）

3-2 点検・評価

FDに関する研修会・講演会では、FDの意義やその必要性について、多くの教職員の理解を深め、意識を高めるとともに、実際の授業改善に寄与するスキルアップの機会の提供が必要である。こうした方向性に沿って、これまで本学のFD研修会・講演会を実施してきた。

研修会後のアンケート結果からは、参加者の多くがFD活動の意味やそれに取り組む必要性などについての理解が深まっていることを確認できた。自由記述欄からは、多くの教員は実践できる内容のプログラムを求めており、より高度なレベルでのFD活動の必要性が示されている。また、香川薬学部が主催した研修会「チーム基盤学習（TBL）入門」にもたくさんの教員が参加するなど、研修会・講演会への参加者数は年々増加傾向にある。こうしたことから、FD研修会・講演会は、本学のFDについての理解の促進や意識変革、授業法のスキルアップの面等で有意義な貢献を果たしていると評価できる。

一方で、日程的な都合から参加を希望しながら参加できなかった教職員もかなりいるものと想像される。より多くの教職員がFD活動に自発的に参加するためには、更なる改善が必要である。多様性の高い受講者のニーズにうまくマッチングした内容の研修会・講演会を適時提供することが重要であることを示している。

3-3 改善計画

本学のFD活動の進捗状況や教職員の多様性に富んだFD研修へのニーズを適切に見極めた上で、本学に必要な研修会・講演会を適時、継続的に実施することが重要である。アンケートでは、研修会・講習会への参加者増を求める声とともに、実際の講義に直ぐにでも導入できる実践的内容を求める意見や、研修会での具体的な例示に対する要求が多い。本学教員の関心が高いテーマを厳選し、多様性に富む個々の教員の教育力の向上発展につながるような研修の機会作りに取り組む。教員により、要求内容が細分化されているため、SPODをはじめ他大学がもつ研修資源を積極的に活用し、研修機会の充実に努める。また、研修会・講演会の日程から参加を希望しながら参加できなかった教職員への録画サーバーあるいは記録DVDによる配信を考慮していく。

4. 全学授業評価アンケート

4-1 現状

平成 25 年度の全学授業評価アンケートは、アンケート集計からフィードバックまでの迅速化を図るため、回答部分は従来方式のマークシートを利用し、集計結果と教員からのフィードバックは新たにオンライン上で入力・公表する「ハイブリッド方式」を採用することとなった。なお、ハイブリッド方式による実施の観察も含めて、今年度の授業評価アンケートは前期のみの実施であった。

4-2 点検・評価

(1) アンケート実施について

アンケート回答はマークシート方式が踏襲され、アンケート実施・回収とも問題なく円滑に行われた。

(2) アンケートの結果について

平成 25 年度の回答者数は、学部・短期大学部を合わせて、前期 33,030 名となっている。全体の特徴として、教育内容や方法に関する 6 つの質問への評価は総じて評価が高かった (4 ポイント以上)。

例年の傾向として、学生の取り組みについての質問「授業に関して予習復習を十分に行いましたか」(全体 3.24) が低い評価となっていることについては、学部と短期大学部の別で見ても同様で、授業外での学習と授業とのつながりの見直しが今以上に必要であることが示唆されている。

授業全体に対する質問「この授業の内容は理解できましたか」（全体 3.97）も全質問の中で相対的に低くなっているが、学部では 3.95 ポイント、短期大学部では 4.11 ポイントと学部によって細かな点差も見られる。就学期間や専門の違いも理由と考えられるが、それぞれの特性に応じて理解に対する学生の満足度を上げる努力も望まれる。

(3) フィードバックについて

評価結果に対するフィードバックは、新たにオンラインによる教員のアクションプランシートへの入力と学生への開示が行われた。集計結果とアクションプランシートの開示は、平成 25 年 10 月 15 日から平成 26 年 1 月 31 日まで行われた。開示範囲は学内のみとし、学部ごとにパスワード付きの PDF ファイルが学内サーバーで公開された。

4-3 今後

従来まで掲示のタイミングや掲示場所が不統一のため閲覧が難しいという問題があった。Web による開示によって、アクセスのしやすさという点が改善された。しかし、新たな開示方式についての認知が十分浸透しなかった部分もあり、今後は周知の徹底やさらに開示方法の改善も含めた取り組みが求められる。

5. 研究授業

5-1 現状

本学は、平成 20 年度後期より、徳島・香川両キャンパスの全学部で研究授業を実施しており、今年で 6 年目となっている。平成 25 年度は、徳島キャンパスで 18 科目（前期 6 科目、後期 12 科目）、香川キャンパスで 10 科目（前期 6 科目、後期 4 科目）、両キャンパス合計 28 科目の研究授業が開催された。そのうち 2 科目分は、文学部における新入生宿泊セミナー内で実施したグループワークのファシリテート（公開授業）も含めている。研究授業の実施回数は、各学部及び各学科の教員数の実情を踏まえながら決定している。研究授業への参加教員は延べ 212 名であった。

昨年度から試みた目標設定型の研究授業は、徳島キャンパスで 1 件、香川キャンパスで 1 件実施した。また、今年で 3 年目となるオープンクラスウィークは、理工学部、徳島薬学部、短期大学部において実施された。

(1) 目的

本学において開始当初より実際に実施されている研究授業は、教員相互の授業参観によるものとして行ってきた。これは授業担当者の指導レベルの向上を主としたものではなく、授業参観者の授業改善を目的としている。参観を通して参考になるもの、取り入れられるものを見つけ、自分自身の授業に活かしていくためである。したがって、授業担当者の教授法に対し、改善点を指摘するためのものではない。

昨年度より、試験的に導入した研究授業（目標設定型）は、従来型の研究授業（教員相互の授業参観）とは異なる手法を取り入れている。教授方法や授業運営上の改善点をあらかじめ設定し、1名以上の教員で長期にわたり調査・研究するものである。組織による効果的な授業技術の掘り起こしとその共有が主な目的となる。また、オープンクラスウィークは、1週間という参観可能期間を設定することにより、教員が参加しやすい環境を設けることをめざした。

(2) 実施方法

今年度は、研究授業の取り組みとして「教員相互による授業参観型」「目標設定型」「オープンクラスウィーク」の3つの選択肢を設けた。各学部及び学科は、まず「教員相互による授業参観型」もしくは「目標設定型」のどちらかを研究授業として選択し、さらに希望する学部及び学科は「オープンクラスウィーク」を実施、という形態を持った。また、文学部においては、新入生宿泊セミナーでのグループワークを、ファシリテートする教員による公開授業として研究授業に取り入れた。

「教員相互による授業参観型」の実施方法は、これまでと変わらず同様の手順によって進められた。各学部及び各学科は、学期はじめに研究授業を担当する教員と研究授業を補助する教員（授業協力者）を定め、担当教員は、研究授業とする科目及び実施日を決定する。これまで同様、所属学部に関係なく誰でも参観し聴講可能とし、科目と実施日については、FD研究部会が全学の教員に対して周知し、出席を促した。1講時90分の内、授業開始から60分を授業参観とし、残りの30分を研究授業担当教員と授業協力者、そして参観教員による意見交換会の時間とするなどの方法をとっている。研究授業の進行及び記録は授業協力者によって進められ、意見交換会では「(1)目的」の研究授業の主旨に基づき、授業全般、学生の様子や反応、教員と学生の相互作用などについて討議が行われた。研究授業の記録は、別紙の様式にて授業担当者と授業協力者によって作成され、その記録用紙は、研究授業実施後2週間以内に各学部のFD研究部員を通してFD研究部会へ提出するよう依頼をした。

「目標設定型」は、事前に授業技術向上のための目標（テーマ、新しい取り組み）、実施期間（目標を達成するために必要十分な日数を設定する）を学部及び学科内で決定し、大学内に公表する。このとき、目標に興味があれば他学科の教員も参加することができるとした。設定期間内に目標を達成するための取り組みを実際に講義で実施する。設定期間後、実施代表者は速やかに、実施した授業技術向上のための取り組みについての報告書を作成し、全学FD研究部会に報告する。今年度の目標設定型の研究授業は2件実施された。

「オープンクラスウィーク」は、薬学部（徳島）、理工学部、短期大学部が実施した。オープンクラスウィークとは、ある一定期間に、すべての講義を自由に聴講できる期間を設けたものである。対象となる教員に対しては、期間中は講義室後部に椅子を設置する、ドアを解放しておく、など講義中に他の教員が自由に聴講できるような環境作りを依頼した。評価としては、聴講した教員は、聴講回数及びコメント等をFD研究部員へメールで報告するという方法をとった。各学部の実施期間は、理工学部（10月21日～10月25日）、薬学部（11月5日～8日）、短期大学部（11月25日～29日）であった。

5-2 点検・評価

平成 20 年度から全学的に始めた研究授業（教員相互による授業参観）は 6 年目を迎え、実施科目数はその年により変動はあるものの、実施回数については昨年度が 32 科目であったが、今年度は 28 科目と減少した。これは、近年から課題となっていた、研究授業のマンネリ化という状況があり、各学部及び学科のほぼ全教員が研究授業を経験したということも原因の一つと考えられる。それらの状況に対して新たな取り組みを実施したのが、新しい研究授業（目標設定型）とオープンクラスウィークであった。

オープンクラスウィークについては、一昨年より理工学部が試験的に実施し、それ以降も毎年実施している。さらに昨年度より薬学部が加わり、今年度は短期大学部が加わった 3 学部が実施した。理工学部においては、昨年同様の評価となっている。また、2 学科で行われた目標設定型の研究授業の取り組みの内、理工学部の報告書によると、今回の取り組みで効果が見えたことから、今後も効果的な指導方法を開発していきたいとしている。次年度は、他学科における目標設定型の研究授業取り入れについても積極的に検討していきたい。しかし、短期大学部においては、学科ごとの特色を考えると、目標設定型とオープンクラスウィークともに、学科単位の比較検討する作業が次年度必要であると考えられる。

5-3 改善計画

これまで、研究授業のマンネリ化を防ぐための改善策として、様々な取り組みを行い、オープンクラスウィークや目標設定型を取り入れてきた。次年度は、各学部及び各学科がより適当であると考えられる研究授業の手法を選択していく中で、オープンクラスウィークと目標設定型の研究授業について、より周知を強化し積極的な取り組みを促していきたい。

さらに、次年度は、文部科学省によるアクティブ・ラーニングの推進が見られることから、アクティブ・ラーニングに関連した研究授業の取り組みについて、また、平成 26 年度から実施されるクォーター制科目についても、研究授業の新たな取り組みとして、検討課題としていきたい。

6. 卒業生満足度評価アンケート

6-1 現状

「卒業生満足度評価」は、学生が卒業時に、入学から卒業までの期間における学生生活を振り返り、本学の教育の充実と改善に資することを目的として行われ、外部への情報発信の役割も併せもったものである。

平成 21 年度～平成 24 年度については、4 年間の調査経緯を踏まえながら、「平成 24 年度 FD 研究部会活動報告書」にその分析と課題提言が行われている。本年度は 4 年間の評価を踏まえ、さらに各調査項目の検討を教育方法が改善できるような観点に立った質問項目とした点にある。検討の詳細は以下に示す。

6-2 検討経過（資料5）

従来の質問項目の中で、「Ⅰ. 記入者について」、「Ⅱ. 授業・教育課程について（全体として）」、「Ⅲ. 大学の施設および支援体制について」、「Ⅳ. キャンパスライフについて」、「Ⅴ. 総合評価」、以上5項目の基本型に変わりはない。詳細な検討項目に関しては、項目別に記述する。

全体的には、4年間の経過報告で検討が必要であると報告されていた「Ⅱ. 大学の施設および支援体制」の「Q. 保健センターは利用しやすかったですか」、「Q. 体育施設は充実していましたか」、「Q. 経済支援（奨学金等）の体制は整っていましたか」、「Ⅳ. キャンパスライフ」の「Q. 大学周辺の生活環境はよかったですか」の4項目は、利用している学生にとっては重要な項目である。しかし、卒業生全体から鑑みると、個別性、関係性、属性により影響を受ける項目や学生個人が判断しにくい項目であり、より教育的観点に立った項目を設定するために削除した。また、学部の特質によって影響を受ける「Ⅰ. 授業・教育課程」の「Q. 免許・資格を取得する課程は充実していましたか」は、語句の変更等を行うことによって項目内容を設定した。

(1) 記入者について

アンケート記入者の属性として、これまでは在学中の住居、クラブ・サークルについての記載を求めていたが、今回からこれらの質問項目を除外した。この理由は、これまでの調査結果から、これらの属性と満足度との間に強い関係が見受けられなかったからである。その代わりに、現所属学科の在籍年数とGPAが新たに加えられた。

調査期間を卒業式前後とすると、GPA欄を設定することでGPAごとの学生の満足度の傾向が把握でき、より改善点が見出しやすいとの意見により、GPA欄を設けることにした。学生に卒業式後に渡される成績においては、GPA表記に関する確認が必要であった。徳島キャンパス、香川キャンパスともに、GPA表記は、当該学年学期と累積が示されることが確認でき、このまま実施されることとなった。ただし、GPAの記載は強制されるものでもなく、自由記載である旨の指導を学生に伝えることが徹底された。

(2) 授業・教育課程について（全体として）

学部の特質によって影響を受ける項目では、語句の変更等や表現方法を検討し、項目を新たに追加することとなった。

修正を加えた項目は、「Q3. 専門的な知識や技能（免許・資格を含む）を修得できましたか」、「Q5. 授業以外の指導（学外実習、見学、補習など）は充実していましたか」、追加項目は、「Q6. 宿題やレポートは多いと感じていましたか」である。これにより、資格や免許等を取得する学部・学科の特性と卒業後の進路との関係性がより明確になる。

(3) 大学の施設および支援体制について

「Q1. 科目の履修についての支援」⇒「履修登録の支援」へ、「Q2. 就職（進学）についての支援」⇒「就職や進学についての相談・支援」へ、「Q4. 情報設備やソフトウェア」⇒「ポータルサイトや学内のPC」へ、「Q6. 食堂や購買・コンビニ」⇒「食堂や売店・コンビニ」へ、と語句の変更をすることによって修正した。

(4) キャンパスライフについて

「Q3. 信頼できる教員や友人に出会えましたか」の1項目を、教員と友人とに分け、「Q3. 頼りになる教員に出会えましたか」と「Q4. よき友と出会えましたか」の2項目とした。

結果、「Ⅱ. 授業・教育課程」では6項目、「Ⅲ. 大学の施設および支援体制」では6項目、「Ⅳ. キャンパスライフ」では4項目の評価項目設定となった。

6-3 集計結果の概要

全体の評価の概要を検討する。全体の評価で一番得点が高かったのは、Ⅳの「Q4. よき友と出会えましたか」であった。一方一番得点が低かったのは、Ⅲの「Q1. 履修登録の支援は役に立ちましたか」であった。

全体の評価が4.0以下だったのが「Ⅱ. 授業・教育課程」では、「Q2. 授業や実習内容が分りやすかったですか」、「Q5. 授業以外の指導（学外実習、見学、補習など）は充実していましたか」、「Q6. 宿題やレポート提出が多いと感じていましたか」の3項目、「Ⅲ. 大学の施設および支援体制」では、「Q1. 履修登録の支援は役に立ちましたか」、「Q2. 就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか」、「Q5. 授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか」の3項目、「Ⅳ. キャンパスライフ」では、「Q2. クラブやサークル活動は参加しやすかったですか」の1項目であった。

6-4 今後の検討

- (1) 今年度より追加した記入者の属性に関する質問項目（在籍年数、GPA）による分析とその有効性
- (2) 卒業生満足度調査結果を踏まえた教育改善プログラムの構築
- (3) ICT 技術を利用した回答方法の検討

7. おわりに

平成19年12月のFD研究部会発足時より、FD研究部会ではFD活動を授業改善活動と認識し、授業改善の取り組みとして、様々な活動を推進してきた。

今後、学生の学修定着度をより高めるための取り組みとして、講義に加えて、アクティブ・ラーニングの活用と推進が本格化すると考えられる。そのための様々な事例に接し、先生方の担当教育に生かしていただけるようなプログラムを充実させるよう取り組んでいきたいと考えている。本年度の活動について、ご理解とご協力をいただいたことに改めてお礼申し上げますとともに、次年度も、より多くの先生方のご参加をいただけますようお願い申し上げます次第である。

8. 用語解説

【SPOD】

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education）の頭文字をとって「SPOD」と呼ばれている。四国地区の大学及び高等専門学校との連携・協働によって、地区内のFD／SD事業の推進と大学等の教育力の向上を図ることを目的として、平成20年度の文部科学省戦略的・大学連携支援事業としてスタートし、現在、四国地区にある33すべての高等教育機関が加盟するネットワーク。

【ファカルティ・ディベロップメント（FD）】

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組みの総称。具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の実施、新任教員のための研修会の実施などを挙げることができる。

【スタッフ・ディベロップメント（SD）】

事務職員や技術職員など職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取り組みを指す。

【ディプロマ・ポリシー（DP）】

卒業認定・学位授与に関する基本的な方針。学部・学科が教育活動の成果として学生に保証する最低限の基本的な資質・養成する人材像と教育研究上の目的を記したものの。

【カリキュラム・ポリシー（CP）】

教育課程編成・実施の方針。DPを保証する体系性と整合性が担保されたカリキュラムを記したものの。

【アドミッション・ポリシー（AP）】

入学者受け入れ方針。各大学・学部がDPを踏まえ、どのような教育活動を行い、また、どのような学生を求めているのかなどの考え方をまとめたものの。

【アクティブ・ラーニング】

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的・倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学修等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

【ルーブリック評価】

いくつかの評価項目について、各レベルの典型となる状況の評価尺度として記述し、学習者のパフォーマンスを評価するもの。通常、表のかたちで示され、判定結果を丸で囲うようにして採点する。学習プロセスの中の場面を切り出し、それぞれに評価項目を設定する。

【ポートフォリオ】

大学等の教員が自分の授業や指導の記録である「教育業績ファイル」を意味するティーチング・ポートフォリオと学生が学習過程ならびに各種の学習成果を長期にわたって収集したものを指すラーニング・ポートフォリオがある。

【IR（機関調査）】

機関の計画策定、政策形成、意思決定を支援するための情報を提供する目的で、高等教育機関の内部で行われる実践志向の強い組織的な調査分析活動。

資料編

1	FD研究部会	10
1-1	FD研究部会会議	
1-2	FD研究部会委員一覧表	
1-3	FD研究部会議事録【別CD資料】	
2	研修会・講演会	12
2-1	研修会・講演会実施一覧(学内)	
2-2	研修会・講演会参加一覧	
2-3	SPOD会議・T-SPOD会議参加一覧	
2-4	研修会・講演会プログラム及びアンケート【別CD資料】	
3	全学授業評価アンケート	16
3-1	後期授業評価アンケート	
3-2	平成25(2013)年度 後期・学部全体	
3-3	平成25(2013)年度 後期・短期大学部全体	
3-4	平成25(2013)年度 後期・大学全体	
3-5	「学生による授業評価アンケート」実施要領	
3-6	ハイブリッド(集計データ電子)化に関するお願い	
3-7	アクションプランシート様式	
3-8	アクションプランシートデータ【別CD資料】	
4	研究授業	23
4-1	平成25(2013)年度 前期 研究授業一覧	
4-2	平成25(2013)年度 後期 研究授業一覧	
4-3	研究授業(教員相互の授業参観)記録様式	
4-4	研究授業(目標設定型)記録様式	
4-5	研究授業の記録【別CD資料】	
5	卒業生満足度評価アンケート	27
5-1	卒業生満足度評価アンケート	
5-2	平成25(2013)年度 学部全体	
5-3	平成25(2013)年度 短期大学部全体	
5-4	平成25(2013)年度 大学全体	
5-5	平成25(2013)年度 大学院全体	
5-6	平成25(2013)年度 専攻科全体	
5-7	実施についての依頼	
5-8	平成25(2013)年度 学部学科別データ【別CD資料】	

平成25年度 FD研究部会会議

回数	日時	会場
第53回 FD研究部会	平成25年4月26日(金) 14:30~15:30	徳島キャンパス 25号館11階会議室
第54回 FD研究部会	平成25年5月22日(水) 15:00~15:50	テレビ会議
第55回 FD研究部会	平成25年6月28日(金) 14:00~15:30	テレビ会議
第56回 FD研究部会	平成25年7月31日(水) 16:00~17:50	徳島キャンパス 25号館11階会議室
第57回 FD研究部会	平成25年9月2日(月) 10:30~11:40	徳島キャンパス 25号館11階会議室
第58回 FD研究部会	平成25年10月25日(金) 13:30~14:30	テレビ会議
第59回 FD研究部会	平成25年11月28日(木) 16:30~17:30	テレビ会議
第60回 FD研究部会	平成25年12月25日(水) 10:30~11:40	徳島キャンパス 25号館11階会議室
第61回 FD研究部会	平成26年1月23日(木) 16:30~17:30	テレビ会議
第62回 FD研究部会	平成26年3月5日(水) 10:30~12:00	香川キャンパス 管理棟2階学園長室

平成25年度 F D 研究部会委員一覧表

	氏 名	所 属
部 会 長	古 田 昇	文 学
部 員	秋 田 昌 彦	薬 学
〃	橋 田 誠 一	人間生活
〃	細 川 つ や 子	保健福祉(徳島 C)
〃	橋 本 誠 志	総合政策
〃	千 葉 さ や か	音 楽
〃	林 向 達	短 大
〃	山 口 健 太 郎	香川薬学
〃	武 蔵 健 裕	保健福祉(香川 C)
〃	小 林 郁 典	理 工
〃	箕 田 康 一	一般総合
事 務 局	織 田 博	教育・研究支援 G(香川 C)
〃	新 見 延 安	教育・研究支援 G(徳島 C)
〃	藤 本 浩 美	教育・研究支援 G(徳島 C)

平成25年度 研修会・講演会実施一覧(学内)

(1) 第1回FD研修会・講演会

日 時	平成25年9月12日(木) 13:30~17:10
演 題	SPOD 研修プログラム 講演「教えないで成績を上げる TBL (チーム基盤型学習) という授業方法」
講 師	立川 明 (高知大学総合教育センター 准教授)
場 所	徳島キャンパス 25号館5階プレゼンテーション室 28名参加 香川キャンパス 図書館3階AVホール 21名参加 (徳島キャンパスから香川キャンパスへ遠隔配信)

(2) 第2回FD講演会

日 時	平成26年2月14日(金) 13:00~15:20
演 題	講演「アクティブ・ラーニングを促す学修ポートフォリオのための授業設計」
講 師	土持 ゲーリー 法一 (帝京大学 教授)
場 所	香川キャンパス 図書館3階AVホール 45名参加 徳島キャンパス 25号館4階スタジオ型講義室 43名参加 (香川キャンパスから徳島キャンパスへ遠隔配信)

2-2

平成25年度 研修会・講演会参加一覧
(SPOD研修会・フォーラム等参加)

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
平成25年 6月13日(木) ～ 14日(金)	講師養成研修 (第1回)	愛媛大学(教職員 能力開発拠点), SPOD	愛媛大学	キャリアサポートグループ 板東博士
平成25年 6月22日(土) ～ 23日(日)	FDファシリテーター (FD担当者)養成研修	徳島大学 FD委員会	国立淡路 青少年交 流の家	理工学部 水野貴之
平成25年 7月4日(木) ～ 5日(金)	大学人・社会人とし ての基礎力養成プロ グラム(レベルⅢ)	愛媛大学(教職員 能力開発拠点), SPOD	愛媛大学	庶務・渉外グループ 遠藤真由美
平成25年 8月20日(火) ～ 23日(金)	SPODフォーラム2013	四国地区大学 教職員能力開発 ネットワーク (SPOD)	愛媛大学	徳島キャンパス 保健福祉学部 冨田羅勝義 薬学部 八木康行 香川キャンパス 文学部 古田 昇 理工学部 小林郁典 中山裕之
平成25年 8月30日(金)	講義のための話し方 入門【遠隔配信】	愛媛大学 教育 ・学生支援機構 教育企画室(教職 員能力開発拠点)	愛媛大学 (徳島文 理大学)	徳島キャンパス 教職員17名 香川キャンパス 教職員15名
平成25年 9月10日(火)	大人数講義法の基本 【遠隔配信】	愛媛大学 教育 ・学生支援機構 教育企画室(教職 員能力開発拠点)	愛媛大学 (徳島文 理大学)	徳島キャンパス 教職員10名
平成25年 11月8日(金)	講師養成研修 (第2回)	愛媛大学(教職員 能力開発拠点), SPOD	愛媛大学	庶務・渉外グループ 藤巻 晃 キャリアサポートグループ 板東博士

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
平成 25 年 11 月 16 日 (土)	次世代リーダー養成 ゼミナール (第 3 回)	四国地区大学 教職員能力開発 ネットワーク (SPOD)	香川大学	庶務・渉外グループ 遠藤真由美
平成 25 年 12 月 26 日 (木)	大学教育カンファ レンス in 徳島	徳島大学 FD 委員会	徳島大学	教育・研究支援 グループ 新見延安
平成 26 年 1 月 20 日 (月) ～ 2 月 28 (金)	学生の授業時間外学 習を促すシラバス作 成法【eラーニング】	愛媛大学 教育 ・学生支援機構 教育企画室(教職 員能力開発拠点)	徳島文理 大学	徳島キャンパス 人間生活学部 橋田誠一 音楽学部 千葉さやか 薬学部 秋田昌彦 総合政策学部 橋本誠志 保健福祉学部 細川つや子 短期大学部 林 向達 教育・研究支援 グループ 新見延安 香川キャンパス 文学部 古田 昇 篠田 裕 理工学部 箕田康一 小林郁典 香川薬学部 山口健太郎 保健福祉学部 武蔵健裕 教育・研究支援 グループ 織田 博
平成 26 年 1 月 22 日 (水)	学生の学びを引き出 すためのシラバスの 書き方	高知大学 総合 教育センター大 学教育創造部門	高知大学	保健福祉学部 細川つや子
平成 26 年 2 月 22 日 (土) ～ 23 (日)	第 19 回 FD フォーラ ム～社会を生き抜く 力を育てるために～	公益財団法人 大学コンソーシ アム京都	龍谷大学	文学部 古田 昇

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
平成 26 年 2 月 26 日(水) ～ 28(金)	平成 25 年度 FD のための情報技術 研究講習会	公益社団法人 私立大学情報 教育協会	大阪経済 大学	理工学部 小林郁典
平成 26 年 3 月 11 日(火)	交流協定締結記念国 際 FD シンポジウム	帝京大学高等教 育開発センター	帝京大学 霞ヶ関キ ャンパス	教育・研究支援 グループ° 織田 博
平成 26 年 3 月 26 日(水)	平成 25 年度 SD 研修 会「学生支援概論」	徳島文理大学	徳島文理 大学	徳島キャンパス 教職員 28 名 香川キャンパス 教職員 25 名

2-3

平成 25 年度 SPOD 会議・T-SPOD 会議参加一覧

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
平成 25 年 5 月 30 日(木)	第 1 回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学 開放実践 センター	教育・研究支援 グループ° 藤本浩美
平成 25 年 9 月 26 日(木)	第 2 回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学 開放実践 センター (メール会議)	教育・研究支援 グループ° 新見延安 橋本典子
平成 26 年 3 月 4 日(火)	第 3 回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学 開放実践 センター	教育・研究支援 グループ° 新見延安
平成 26 年 3 月 28 日(金)	平成 25 年度総会 及び FD/SD 分科会	四国地区大学 教職員能力開発 ネットワーク (SPOD)	愛媛大学	教育・研究支援 グループ° 新見延安 庶務・渉外グループ° 藤巻 晃

T-SPOD：徳島県内 SPOD 加盟校(8 校)

平成 25(2013)年度 前期授業評価アンケート

実施期間	平成 25 年 7 月 11 日(木)～7 月 24 日(水)
実施科目・履修者数	859 科目 39,511 回答者数 33,030 回答率 83.6%
アクションプランシート 記入期間	平成 25 年 9 月 9 日(月)～9 月 30 日(月)
アクションプランシート 記載状況	93.1% (徳島 93.7%、香川 92.0%)

2013年度 前期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(全体)

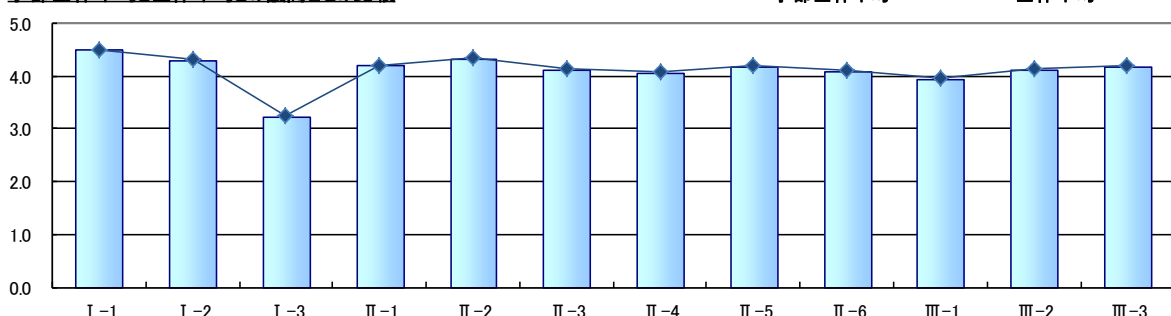
徳島文理大学

集計単位	学部全体
------	------

受講者数	35,839
回答者数	29,951

I. あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	当集計平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらでもない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない		
1	あなたはこの授業にまじめに出席しましたか	4.50	18,721 62.7%	8,262 27.7%	2,224 7.4%	507 1.7%	147 0.5%	29,861	90
2	あなたはこの授業を理解しようと努めましたか	4.31	13,853 46.3%	12,332 41.3%	3,068 10.3%	477 1.6%	165 0.6%	29,895	56
3	あなたはこの授業に関して、予習復習を行いましたか	3.23	5,135 17.2%	7,972 26.8%	9,025 30.3%	3,863 13.0%	3,783 12.7%	29,778	173
II. 授業内容及び方法について									
No.	設問文	当集計平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらでも ない	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない		
1	授業内容は、シラバスにそっていたと思いますか	4.22	12,965 43.6%	11,032 37.1%	5,150 17.3%	370 1.2%	226 0.8%	29,743	208
2	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.32	15,095 50.5%	10,644 35.6%	3,225 10.8%	574 1.9%	338 1.1%	29,876	75
3	教員の説明は聞き取りやすかったですか	4.13	13,240 44.3%	10,319 34.5%	4,058 13.6%	1,477 4.9%	788 2.6%	29,882	69
4	教員の説明はわかりやすかったですか	4.06	12,238 41.0%	10,532 35.3%	4,659 15.6%	1,534 5.1%	884 3.0%	29,847	104
5	教科書や教材(プリントなど)は適切でしたか	4.17	12,716 42.8%	11,183 37.6%	4,540 15.3%	870 2.9%	426 1.4%	29,735	216
6	板書や視聴覚教材などは効果的に利用されていましたか	4.10	12,437 41.8%	10,439 35.1%	5,057 17.0%	1,201 4.0%	644 2.2%	29,778	173
III. 授業全体について									
No.	設問文	当集計平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらでも ない	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない		
1	この授業の内容は理解できましたか	3.95	9,277 31.1%	12,835 43.0%	5,389 18.1%	1,635 5.5%	688 2.3%	29,824	127
2	この授業は知識・技術の習得につながりましたか	4.11	11,691 39.2%	11,934 40.0%	4,652 15.6%	1,011 3.4%	532 1.8%	29,820	131
3	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.18	13,132 44.1%	10,948 36.8%	4,220 14.2%	880 3.0%	586 2.0%	29,766	185
IV. 各学部用									
No.	設問文	当集計平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									

学部全体平均と全体平均との設問ごとの比較



2013年度 前期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(全体)

徳島文理大学

集計単位	短期大学部全体
------	---------

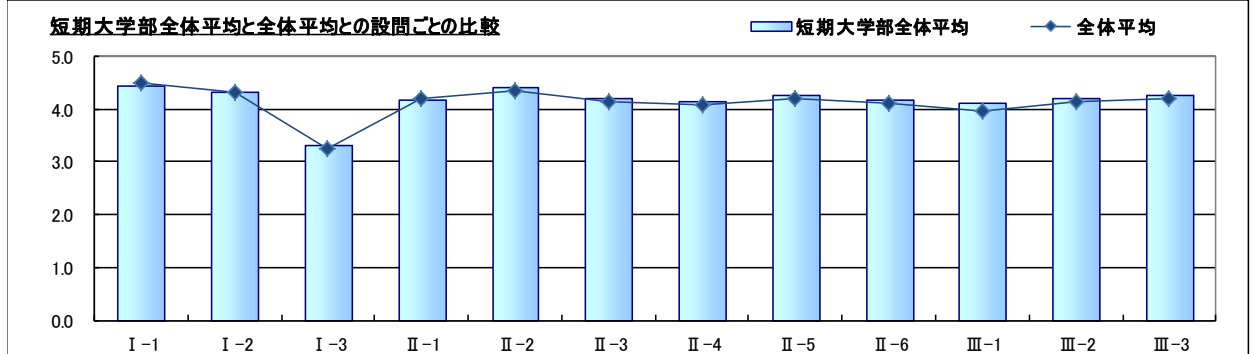
受講者数	3,672
回答者数	3,079

I. あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	当集計平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらでもない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない		
1	あなたはこの授業にまじめに出席しましたか	4.44	1,765 57.4%	967 31.4%	272 8.8%	67 2.2%	6 0.2%	3,077	2
2	あなたはこの授業を理解しようと努めましたか	4.33	1,429 46.5%	1,284 41.8%	324 10.5%	31 1.0%	5 0.2%	3,073	6
3	あなたはこの授業に関して、予習復習を行いましたか	3.33	559 18.2%	849 27.7%	992 32.3%	391 12.7%	277 9.0%	3,068	11

II. 授業内容及び方法について									
No.	設問文	当集計平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらでもない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない		
1	授業内容は、シラバスにそっていたと思いますか	4.17	1,227 40.1%	1,181 38.6%	607 19.8%	29 0.9%	15 0.5%	3,059	20
2	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.42	1,713 55.8%	1,022 33.3%	271 8.8%	46 1.5%	18 0.6%	3,070	9
3	教員の説明は聞き取りやすかったですか	4.23	1,447 47.1%	1,088 35.4%	371 12.1%	118 3.8%	49 1.6%	3,073	6
4	教員の説明はわかりやすかったですか	4.15	1,376 44.8%	1,059 34.5%	437 14.2%	136 4.4%	65 2.1%	3,073	6
5	教科書や教材(プリントなど)は適切でしたか	4.27	1,447 47.1%	1,128 36.7%	398 13.0%	70 2.3%	27 0.9%	3,070	9
6	板書や視聴覚教材などは効果的に利用されていましたか	4.18	1,333 43.5%	1,106 36.1%	498 16.3%	90 2.9%	35 1.1%	3,062	17

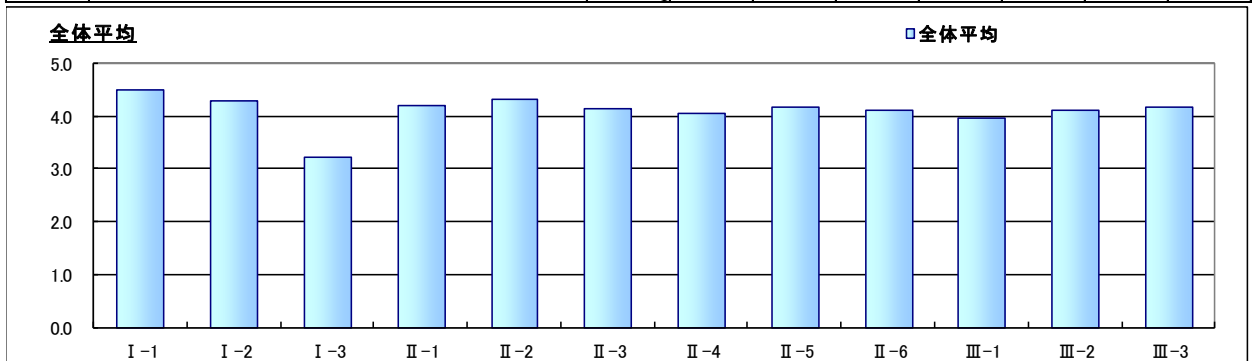
III. 授業全体について									
No.	設問文	当集計平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらでもない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない		
1	この授業の内容は理解できましたか	4.11	1,123 36.5%	1,340 43.6%	473 15.4%	100 3.3%	38 1.2%	3,074	5
2	この授業は知識・技術の習得につながりましたか	4.21	1,325 43.2%	1,201 39.1%	433 14.1%	78 2.5%	33 1.1%	3,070	9
3	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.27	1,465 47.8%	1,104 36.1%	389 12.7%	65 2.1%	39 1.3%	3,062	17

IV. 各学部用									
No.	設問文	当集計平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									



受講者数	39,511
回答者数	33,030

I. あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	当集計平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらでもない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない		
1	あなたはこの授業にまじめに出席しましたか	4.50	20,486 62.2%	9,229 28.0%	2,496 7.6%	574 1.7%	153 0.5%	32,938	92
2	あなたはこの授業を理解しようと努めましたか	4.31	15,282 46.4%	13,616 41.3%	3,392 10.3%	508 1.5%	170 0.5%	32,968	62
3	あなたはこの授業に関して、予習復習を行いましたか	3.24	5,694 17.3%	8,821 26.9%	10,017 30.5%	4,254 13.0%	4,060 12.4%	32,846	184
II. 授業内容及び方法について									
No.	設問文	当集計平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらでも ない	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない		
1	授業内容は、シラバスにそっていたと思いますか	4.21	14,192 43.3%	12,213 37.2%	5,757 17.6%	399 1.2%	241 0.7%	32,802	228
2	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.33	16,808 51.0%	11,666 35.4%	3,496 10.6%	620 1.9%	356 1.1%	32,946	84
3	教員の説明は聞き取りやすかったですか	4.14	14,687 44.6%	11,407 34.6%	4,429 13.4%	1,595 4.8%	837 2.5%	32,955	75
4	教員の説明はわかりやすかったですか	4.07	13,614 41.4%	11,591 35.2%	5,096 15.5%	1,670 5.1%	949 2.9%	32,920	110
5	教科書や教材(プリントなど)は適切でしたか	4.18	14,163 43.2%	12,311 37.5%	4,938 15.1%	940 2.9%	453 1.4%	32,805	225
6	板書や視聴覚教材などは効果的に利用されていましたか	4.11	13,770 41.9%	11,545 35.2%	5,555 16.9%	1,291 3.9%	679 2.1%	32,840	190
III. 授業全体について									
No.	設問文	当集計平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらでも ない	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない		
1	この授業の内容は理解できましたか	3.97	10,400 31.6%	14,175 43.1%	5,862 17.8%	1,735 5.3%	726 2.2%	32,898	132
2	この授業は知識・技術の習得につながりましたか	4.12	13,016 39.6%	13,135 39.9%	5,085 15.5%	1,089 3.3%	565 1.7%	32,890	140
3	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.19	14,597 44.5%	12,052 36.7%	4,609 14.0%	945 2.9%	625 1.9%	32,828	202
IV. 各学部用									
No.	設問文	当集計平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									



「学生による授業評価アンケート」実施要領

平成25年7月

徳島文理大学・短期大学部FD研究部会

上記のアンケートの実施について、下記の要領でご協力くださるようお願いいたします。

記

1. アンケートは授業担当者が配布し、趣旨・記入方法を説明してください。
2. 回収と提出は、原則として授業担当者以外(例：各クラス委員、受講代表者など)が行ってください。なお、回収後、直ちに下記の提出場所に提出してください。
3. アンケート実施期間
平成25年7月11日(木)～7月24日(水)
4. 提出期限：各アンケート実施当日
5. 提出場所：徳島キャンパス 1号館1階学務入試グループカウンターまたは
25号館(メディアセンター)6階 教育・研究支援
グループ
香川キャンパス 各学部事務室

【記入方法及び注意事項】

1. 他学部の学生が履修している科目がありますが、区別せずに実施してください。
2. アンケート実施の趣旨を以下のようにご説明ください。
「授業アンケートは、授業の改善に役立てるために行います。そのため、一人ひとりの学生には、誠意をもってきちんと回答することが期待されています。」
3. マークシートを学生1名につき1枚配布してください。
4. マークシートを汚したり、折り曲げたりしないように注意してください。
5. 記入には**HBの鉛筆**または**シャープペンシル**を使用するように指示してください。
6. マークシートの「**年度**」「**所属学部**」「**学年**」「**科目コード**」を記入し、それぞれ該当する数字をマークするよう指示してください。
「年度」・・・13
「所属学部」・・・学生の所属学部。裏面「学部コード一覧表」参照
「科目コード」・・・封筒ラベル参照
黒板に書くなどして、正確なコードを学生に知らせてください。
7. 回答には**約15分間**かけてください。
8. 回収後は速やかにマークシートを残部も含めすべて封筒に入れてください。
9. その他 何かご不明な点がありましたら下記までご連絡ください。
徳島キャンパス藤本(内線：8664)
香川キャンパス半田(内線：2296)

授業評価アンケートのハイブリッド(集計データ電子)化に関するお願い

学生による授業評価アンケートの実施につきましては、ご理解ご協力を賜りありがとうございます。

学生による授業評価アンケートが、授業改善に大いに貢献していることは疑いのないことと教員側では認識しています。しかしながら、授業評価アンケート結果が実際に活用されているにも関わらず、学生からは改善点が明瞭には見えていなかったことも事実と存じます。授業評価アンケートは、見方を変えると、学生の授業に対する要望であり、その要望に対して明確な返答をすることが、学生との信頼関係をさらに強固なものとし、結果としてより良い授業へ進展すると F D 研究部会では結論いたしています。

そこで、より良い授業を行い、加えて、より良い外部評価を得るために、教員の方々にはアンケート結果に対するアクションプランシート（一昨年まではフィードバック）の記入をお願いいたします。

- ①封筒の中には、アンケート用紙と集計結果表が入っています。
感想の欄は集計されませんので担当の先生でご活用ください。
なお、アンケート用紙は、担当の先生方で1年間（平成 26 年 9 月末まで）保管していただき、それ以降は各自で処分してください。
- ②9月6日（金）に各先生方のメールアドレスに「ログインIDとパスワード・アクションプランシート作成」のメールが担当業者（教育ソフトウェア）から送られてきます。（昨年度のログインIDとパスワードは同じです。）
- ③メール到着後から、今回のアンケート集計結果と過去4年間のアンケート結果をウェブ上で閲覧でき、過去と比較して分析もできます。
- ④アンケート結果の閲覧やアクションプランシートの記入は、送られてきたID→パスワードを入れて、ウェブ上で実行してください。
記入項目は 1「アンケート結果に対するコメント」
2「今後の授業に向けて」
- ⑤アクションプランシート入力期間：9月9日（月）～9月30日（月）
（入力期間を過ぎると入力できなくなるので、ご注意ください。）
なお、詳細は操作マニュアルを参照してください。
（ログイン、集計結果の閲覧・分析、アクションプランシートの記入など）

その他ご不明な点につきましては、お手数ですが、下記の『教育・研究支援グループ』（までご連絡をお願いいたします。

徳島キャンパス：新見延安 nobuyasu@tks.bunri-u.ac.jp

香川キャンパス：織田 博 hiros_51oda@kgw.bunri-u.ac.jp

3-7 アクションプランシート

アクションプランシート

2013 年度前期 曜日 ()

科目名 : ()

教員名 : ()

項目見出し	コメント
アンケート結果に対するコメント	
今後の授業に向けて	

平成25年度前期 研究授業

徳島キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	シラバス 科目番号	授業者	教室
6月6日	木	4	保健福祉	看護1年	形態機能論Ⅱ	10131	茅田羅勝義	3807
6月20日	木	3	総合政策	総合政策3年	総合政策演習C	54810	竹村文宏	20304
7月3日	水	2	薬学部	薬1年	無機化学	40018	山本博文	24201
7月8日	月	1	保健福祉	理学療法3年	基礎運動療法学	10006	鶯 春夫・他	23301
7月12日	金	4	音楽	音楽	合奏C	55148	板東久美	5611
7月18日	木	3	保健福祉	人間福祉2年	精神疾患とその治療Ⅰ	10115	大蔵雅夫	3201

香川キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	シラバス 科目番号	授業者	教室
4月19日	金		文	日・英・財1年	宿泊セミナー研修①	—	上田穂積・立山善康 中島正太・清水真一	2F研修室
4月20日	土		文	日・英・財1年	宿泊セミナー研修②	-	上田穂積・立山善康 中島正太・清水真一	2F研修室
6月20日	木	2	理工	ナノ物質工2年	基礎微生物学	00265	水野貴之	10号館6Fゼミ室
7月2日	火	1	文	英語英米文化	総合科目D(ヨーロッパ文化史A)	00212	井上 勉	研3F講(3)
7月8日	月	2	保健福祉	診療放射線2年	核医学検査技術学Ⅰ	00041	保田定利	3230
7月19日	金	2	香川薬	薬3年	病態生理学Ⅰ	00212	富永貴志	121

平成25年度後期 研究授業

徳島キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	シラバス 科目番号	授業者	教室
9月27日	金	1	人間生活	食物栄養1年	食品衛生学Ⅰ	55110	永山績夫	9302
9月30日	月	3・4	保健福祉	理学療法3年	物理療法学実習	00130	岡崎大資・他	23302
10月2日	水	3	人間生活	建築デザイン 人間生活	住居学	10313	森田孝夫	231107
10月7日	月	3	保健福祉	人間福祉3年	精神保健福祉論Ⅱ	10242	木内哲二	3-11⑪
10月31日	木	4	総合政策	総合政策2年	キャリアプログラムⅡ	53632	中村昌宏	23203
11月8日	金	2	保健福祉	看護2年	精神保健衛生論	10206	藤森由子	3807
11月11日	月	4	人間生活	食物栄養2年	調理学	55107	近藤美樹	9303
11月18日	月	2	人間生活	心理2・3・4年	産業心理学	54895	黒澤良輔	23204
11月22日	金	2	薬	薬1年	細胞生物学	54875	野路征昭	24201
12月4日	水	3	人間生活	メディアデザイン 2年	プログラミング応用	54722	篠原靖典	9401
1月8日	水	4	音楽	音楽1年	音楽療法概論Ⅱ	55243	千葉さやか	5805
1月10日	金	4	人間生活	児童2年	国語(書写を含む)	55261	井上京子	9601

香川キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	シラバス 科目番号	授業者	教室
11月11日	月	3	理工	機械創造工3年	材料強度学	00205	吉田憲一	10号館4階ゼミ室
11月15日	金	4	保健福祉	臨床工1年	医用機器学概論	00116	後藤朱里	3230
12月17日	火	2	香川薬	薬2年	天然物化学	00088	代田 修	312
1月21日	火	2	文	文化財2年～	文化交流史	00366	橋詰 茂	研3F講(1)
9月20日～1月28日			理工	電子情報工 1年～3年	情報理論・計測工学 情報伝送・基礎情報処理Ⅱ	00107・00273 00268・00051	妹尾尚一郎・田淵敏明 中山裕之・山本由和	—

研究授業（教員相互の授業参観）記録			
学 部		学 科	
授 業 者		科 目 名 (授業形態)	
授業協力者		科目コード	
日 時	平成 年 月 日	曜日	講時
対 象 学 生			
授業テーマ			
研究授業内容自己評価			
研究授業参観者の意見・感想			
授業参観者数	名		

研究授業（目標設定型）記録			
学 部		学 科	
実施代表者			
実施日時	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日		
目標の説明			
対象学年 または科目			
具体的な取り組み方法			
結果			
協力教員数	名)		
	内訳		

平成 25(2013)年度
卒業生満足度評価アンケート

実施期間	平成 26 年 3 月 10 日(月)～3 月 17 日(月)
実施学科・人数	学部・専攻科・研究科、1,052 名
回答数・回答率	977 名 92.9%

対象者数	881
回答者数	810

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	365 45.1%	445 54.9%	0 0.0%

現所属学科 の在籍年数	1, 2年	3, 4年	5, 6年	7, 8年	9年以上	無効
	29 3.6%	649 80.1%	120 14.8%	10 1.2%	0 0.0%	2 0.2%

卒業後の 進路	就職	進学	未定	無効
	621 76.7%	37 4.6%	147 18.1%	5 0.6%

GPA	1.0未満	1点台	2点台	3点台	4.0以上	無効
	14 1.7%	76 9.4%	305 37.7%	187 23.1%	29 3.6%	199 24.6%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	学部全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.13	274 33.8%	416 51.4%	90 11.1%	14 1.7%	16 2.0%	810	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.02	216 26.7%	437 54.0%	125 15.4%	22 2.7%	10 1.2%	810	0
3	専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を 修得できましたか	4.13	323 40.0%	330 40.8%	109 13.5%	30 3.7%	16 2.0%	808	2
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.22	335 41.5%	360 44.6%	83 10.3%	19 2.4%	11 1.4%	808	2
5	授業以外の指導(学外実習、見学、補習など)は 充実していましたか	3.94	240 29.8%	351 43.5%	158 19.6%	41 5.1%	16 2.0%	806	4
6	宿題やレポート提出が多いと感じていましたか	3.22	122 15.2%	187 23.3%	308 38.3%	119 14.8%	68 8.5%	804	6

III. 大学の施設および支援体制について

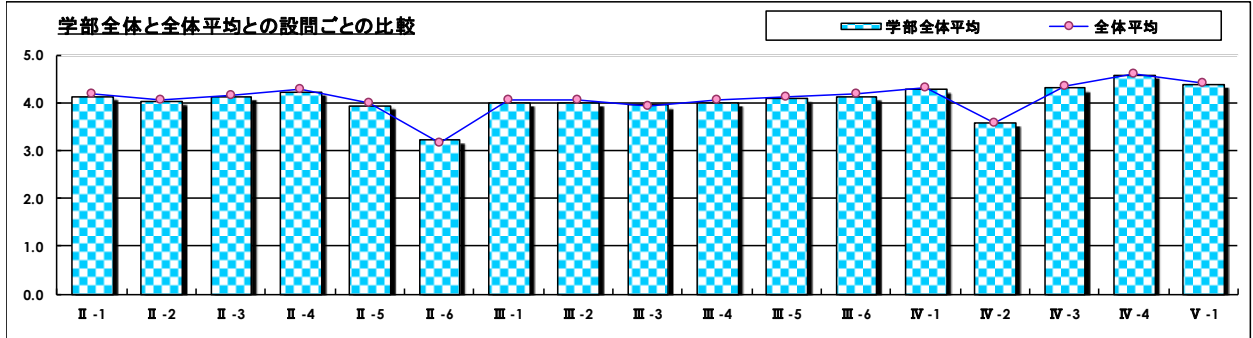
No.	設問文	学部全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	履修登録の支援は役に立ちましたか	4.00	280 34.7%	323 40.0%	154 19.1%	28 3.5%	23 2.8%	808	2
2	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	4.00	290 35.8%	313 38.7%	148 18.3%	31 3.8%	27 3.3%	809	1
3	図書館は利用しやすかったですか	3.94	298 36.8%	274 33.8%	159 19.6%	52 6.4%	27 3.3%	810	0
4	ポータルサイトや学内のPCは利用しやすかったですか	4.00	280 34.8%	314 39.0%	159 19.8%	37 4.6%	15 1.9%	805	5
5	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.08	289 35.9%	345 42.8%	131 16.3%	28 3.5%	13 1.6%	806	4
6	食堂や売店・コンビニは利用しやすかったですか	4.12	343 42.4%	297 36.7%	112 13.8%	36 4.4%	21 2.6%	809	1

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	学部全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.28	372 46.0%	321 39.7%	90 11.1%	16 2.0%	9 1.1%	808	2
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.58	221 27.4%	193 23.9%	287 35.5%	49 6.1%	58 7.2%	808	2
3	頼りになる教員に出会えましたか	4.30	398 49.3%	298 36.9%	82 10.1%	14 1.7%	16 2.0%	808	2
4	よき友と出会えましたか	4.58	552 68.4%	190 23.5%	54 6.7%	3 0.4%	8 1.0%	807	3

V. 総合評価

No.	設問文	学部全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.38	418 52.6%	294 37.0%	63 7.9%	10 1.3%	10 1.3%	795	15



対象者数	142
回答者数	138

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効	現所属学科 の在籍年数	1, 2年	3, 4年	5, 6年	7, 8年	9年以上	無効	
	11	127	0		135	2	0	0	0	1	
	8.0%	92.0%	0.0%		97.8%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	
卒業後の 進路	就職	進学	未定	無効	GPA	1.0未満	1点台	2点台	3点台	4.0以上	無効
	115	13	10	0		0	18	49	32	1	38
	83.3%	9.4%	7.2%	0.0%		0.0%	13.0%	35.5%	23.2%	0.7%	27.5%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	短大全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.48	75 54.7%	55 40.1%	5 3.6%	2 1.5%	0 0.0%	137	1
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.35	57 41.3%	73 52.9%	7 5.1%	1 0.7%	0 0.0%	138	0
3	専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を 修得できましたか	4.28	64 46.7%	56 40.9%	11 8.0%	4 2.9%	2 1.5%	137	1
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.52	80 58.0%	50 36.2%	8 5.8%	0 0.0%	0 0.0%	138	0
5	授業以外の指導(学外実習、見学、補習など)は 充実していましたか	4.21	55 40.4%	57 41.9%	22 16.2%	1 0.7%	1 0.7%	136	2
6	宿題やレポート提出が多いと感じていましたか	2.88	12 8.8%	30 21.9%	44 32.1%	31 22.6%	20 14.6%	137	1

III. 大学の施設および支援体制について

No.	設問文	短大全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	履修登録の支援は役に立ちましたか	4.28	66 47.8%	47 34.1%	23 16.7%	1 0.7%	1 0.7%	138	0
2	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	4.30	66 47.8%	55 39.9%	11 8.0%	4 2.9%	2 1.4%	138	0
3	図書館は利用しやすかったですか	3.91	51 37.0%	39 28.3%	37 26.8%	7 5.1%	4 2.9%	138	0
4	ポータルサイトや学内のPCは利用しやすかったですか	4.30	64 46.7%	54 39.4%	16 11.7%	2 1.5%	1 0.7%	137	1
5	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.36	65 47.4%	58 42.3%	13 9.5%	1 0.7%	0 0.0%	137	1
6	食堂や売店・コンビニは利用しやすかったですか	4.54	86 62.8%	42 30.7%	7 5.1%	1 0.7%	1 0.7%	137	1

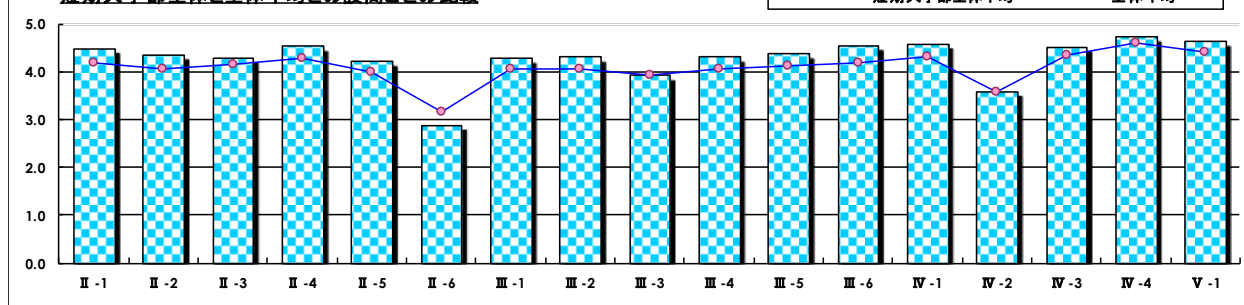
IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	短大全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.58	89 64.5%	42 30.4%	5 3.6%	2 1.4%	0 0.0%	138	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.58	38 27.7%	30 21.9%	53 38.7%	6 4.4%	10 7.3%	137	1
3	頼りになる教員に出会えましたか	4.51	92 66.7%	32 23.2%	9 6.5%	3 2.2%	2 1.4%	138	0
4	よき友と出会えましたか	4.72	105 76.1%	28 20.3%	4 2.9%	1 0.7%	0 0.0%	138	0

V. 総合評価

No.	設問文	短大全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.63	94 68.6%	36 26.3%	6 4.4%	1 0.7%	0 0.0%	137	1

短期大学部全体と全体平均との設問ごとの比較



5-4

2013年度 卒業生満足度評価アンケート集計結果(全体)

徳島文理大学

対象者数	1,023
回答者数	948

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効	現所属学科 の在籍年数	1, 2年	3, 4年	5, 6年	7, 8年	9年以上	無効	
	376	572	0		1.2年	651	120	10	0	3	
	39.7%	60.3%	0.0%		17.3%	68.7%	12.7%	1.1%	0.0%	0.3%	
卒業後の 進路	就職	進学	未定	無効	GPA	1.0未満	1点台	2点台	3点台	4.0以上	無効
	736	50	157	5		1.4	94	354	219	30	237
	77.6%	5.3%	16.6%	0.5%		1.5%	9.9%	37.3%	23.1%	3.2%	25.0%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.18	349 36.9%	471 49.7%	95 10.0%	16 1.7%	16 1.7%	947	1
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.07	273 28.8%	510 53.8%	132 13.9%	23 2.4%	10 1.1%	948	0
3	専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を 修得できましたか	4.15	387 41.0%	386 40.8%	120 12.7%	34 3.6%	18 1.9%	945	3
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.27	415 43.9%	410 43.3%	91 9.6%	19 2.0%	11 1.2%	946	2
5	授業以外の指導(学外実習、見学、補習など)は 充実していましたか	3.98	295 31.3%	408 43.3%	180 19.1%	42 4.5%	17 1.8%	942	6
6	宿題やレポート提出が多いと感じていましたか	3.17	134 14.2%	217 23.1%	352 37.4%	150 15.9%	88 9.4%	941	7

III. 大学の施設および支援体制について

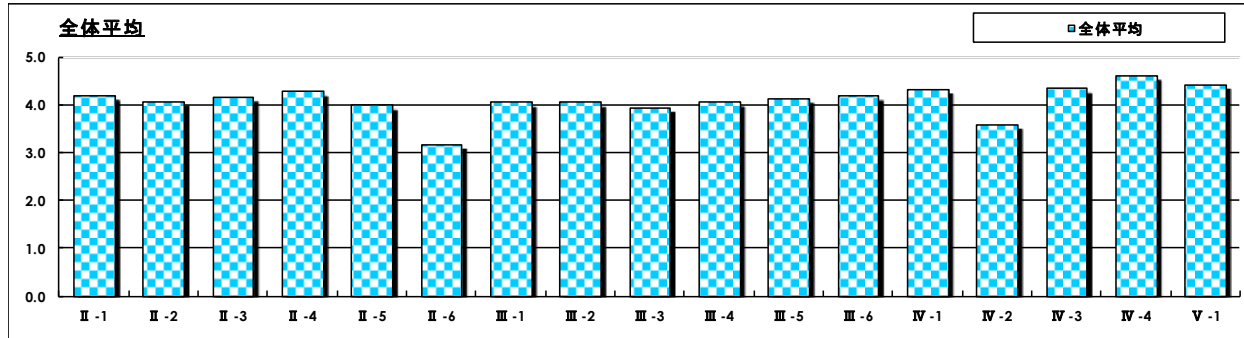
No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	履修登録の支援は役に立ちましたか	4.04	346 36.6%	370 39.1%	177 18.7%	29 3.1%	24 2.5%	946	2
2	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	4.04	356 37.6%	368 38.9%	159 16.8%	35 3.7%	29 3.1%	947	1
3	図書館は利用しやすかったですか	3.94	349 36.8%	313 33.0%	196 20.7%	59 6.2%	31 3.3%	948	0
4	ポータルサイトや学内のPCは利用しやすかったですか	4.05	344 36.5%	368 39.1%	175 18.6%	39 4.1%	16 1.7%	942	6
5	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.12	354 37.5%	403 42.7%	144 15.3%	29 3.1%	13 1.4%	943	5
6	食堂や売店・コンビニは利用しやすかったですか	4.18	429 45.3%	339 35.8%	119 12.6%	37 3.9%	22 2.3%	946	2

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.32	461 48.7%	363 38.4%	95 10.0%	18 1.9%	9 1.0%	946	2
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.58	259 27.4%	223 23.6%	340 36.0%	55 5.8%	68 7.2%	945	3
3	頼りになる教員に出会えましたか	4.33	490 51.8%	330 34.9%	91 9.6%	17 1.8%	18 1.9%	946	2
4	よき友と出会えましたか	4.60	657 69.5%	218 23.1%	58 6.1%	4 0.4%	8 0.8%	945	3

V. 総合評価

No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.42	512 54.9%	330 35.4%	69 7.4%	11 1.2%	10 1.1%	932	16



対象者数	16
回答者数	16

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効	現所属学科 の在籍年数	1, 2年	3, 4年	5, 6年	7, 8年	9年以上	無効	
	8	8	0		15	1	0	0	0	0	
	50.0%	50.0%	0.0%		93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
卒業後の 進路	就職	進学	未定	無効	GPA	1.0未満	1点台	2点台	3点台	4.0以上	無効
	13	0	3	0		0	0	8	2	6	
	81.3%	0.0%	18.8%	0.0%		0.0%	0.0%	50.0%	12.5%	37.5%	

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	大学院全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.69	13 81.3%	2 12.5%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	16	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.81	13 81.3%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16	0
3	専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を 修得できましたか	4.75	12 75.0%	4 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16	0
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.94	15 93.8%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16	0
5	授業以外の指導(学外実習、見学、補習など)は 充実していましたか	4.56	11 68.8%	3 18.8%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	16	0
6	宿題やレポート提出が多いと感じていましたか	2.75	1 6.3%	2 12.5%	7 43.8%	4 25.0%	2 12.5%	16	0

III. 大学の施設および支援体制について

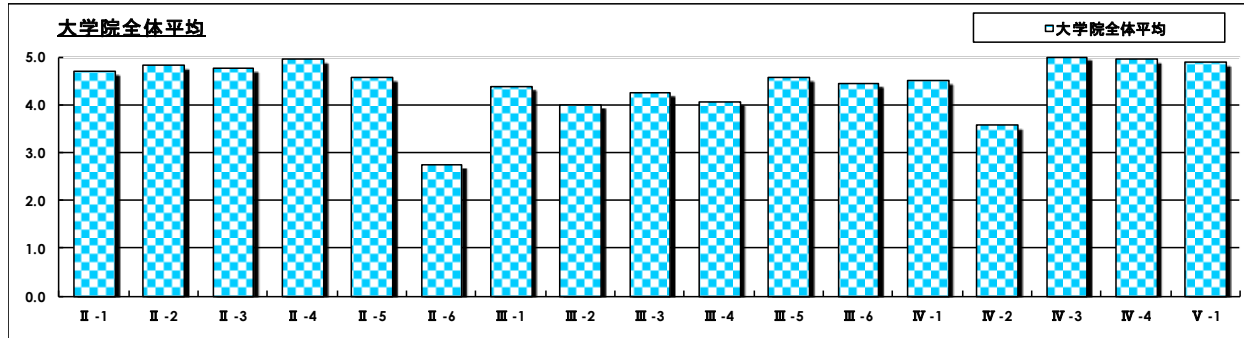
No.	設問文	大学院全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	履修登録の支援は役に立ちましたか	4.38	9 56.3%	4 25.0%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	16	0
2	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	4.00	7 43.8%	4 25.0%	4 25.0%	0 0.0%	1 6.3%	16	0
3	図書館は利用しやすかったですか	4.25	9 56.3%	3 18.8%	3 18.8%	1 6.3%	0 0.0%	16	0
4	ポータルサイトや学内のPCは利用しやすかったですか	4.06	6 37.5%	6 37.5%	3 18.8%	1 6.3%	0 0.0%	16	0
5	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.56	11 68.8%	4 25.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	16	0
6	食堂や売店・コンビニは利用しやすかったですか	4.44	9 56.3%	6 37.5%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	16	0

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	大学院全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.50	9 56.3%	6 37.5%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	16	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.56	4 25.0%	3 18.8%	8 50.0%	0 0.0%	1 6.3%	16	0
3	頼りになる教員に出会えましたか	5.00	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16	0
4	よき友と出会えましたか	4.94	15 93.8%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16	0

V. 総合評価

No.	設問文	大学院全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.88	14 87.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16	0



対象者数	13
回答者数	13

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効	現所属学科 の在籍年数	1, 2年	3, 4年	5, 6年	7, 8年	9年以上	無効
	5	8	0		11	0	2	0	0	0
	38.5%	61.5%	0.0%		84.6%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%

卒業後の進路	就職	進学	未定	無効	GPA	1.0未満	1点台	2点台	3点台	4.0以上	無効
	9	0	4	0		0	0	6	2	3	2
	69.2%	0.0%	30.8%	0.0%		0.0%	0.0%	46.2%	15.4%	23.1%	15.4%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	専攻科全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.54	8 61.5%	4 30.8%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	13	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.69	10 76.9%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	13	0
3	専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を修得できましたか	4.46	7 53.8%	5 38.5%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	13	0
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.62	9 69.2%	3 23.1%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	13	0
5	授業以外の指導(学外実習、見学、補習など)は充実していましたか	4.62	10 76.9%	2 15.4%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	13	0
6	宿題やレポート提出が多いと感じていましたか	3.46	4 30.8%	1 7.7%	6 46.2%	1 7.7%	1 7.7%	13	0

III. 大学の施設および支援体制について

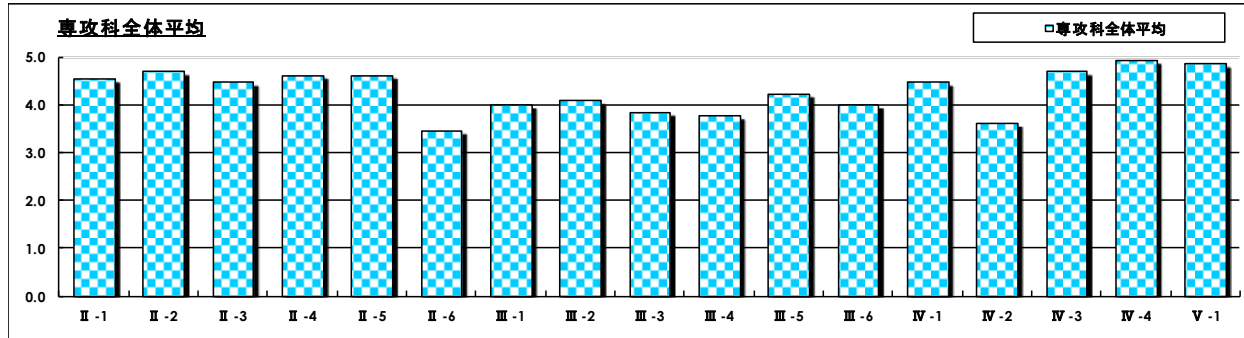
No.	設問文	専攻科全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	履修登録の支援は役に立ちましたか	4.00	5 38.5%	5 38.5%	2 15.4%	0 0.0%	1 7.7%	13	0
2	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	4.08	6 46.2%	4 30.8%	2 15.4%	0 0.0%	1 7.7%	13	0
3	図書館は利用しやすかったですか	3.85	4 30.8%	5 38.5%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	13	0
4	ポータルサイトや学内のPCは利用しやすかったですか	3.77	4 30.8%	5 38.5%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	13	0
5	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.23	6 46.2%	4 30.8%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	13	0
6	食堂や売店・コンビニは利用しやすかったですか	4.00	6 46.2%	4 30.8%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	13	0

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	専攻科全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.46	7 53.8%	5 38.5%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	13	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.62	6 46.2%	1 7.7%	3 23.1%	1 7.7%	2 15.4%	13	0
3	頼りになる教員に出会えましたか	4.69	11 84.6%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	13	0
4	よき友と出会えましたか	4.92	12 92.3%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13	0

V. 総合評価

No.	設問文	専攻科全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.85	11 84.6%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13	0



各大学院・研究科長 殿

各専攻科長 殿

各学部・学科長 殿

徳島文理大学・短期大学部FD研究部会

「卒業生満足度評価アンケート」の実施について(ご依頼)

上記のアンケート実施について、下記の要領でご協力くださるようお願いいたします。

記

- 1 卒業式当日の実施を原則としますが、その前後で各大学院・研究科、専攻科、学部・学科の都合の良い日に実施して下さって結構です。
- 2 アンケート実施の趣旨を以下のようにご説明ください。
「この調査は、卒業生の皆さんの本学の教育内容や施設、学園生活などに対する満足度を調査し、本学の教育の充実と改善に資するために行います。そのため、一人ひとりの卒業生には、誠意をもってきちんと回答することが期待されています。」
- 3 マークシートを卒業生1名につき1枚配布してください。
- 4 マークシートを汚したり、折り曲げたりしないように注意してください。
- 5 記入には**HBの鉛筆**または**シャープペンシル**を使用するように指示してください。
- 6 マークシートの「**年度**」「**所属コード**」を記入し、それぞれ該当する数字をマークするよう指示してください。
「年度」・・・13 「所属コード」・・・封筒ラベル参照
- 7 回答には**約15分間**かけてください。
- 8 回収後は速やかにマークシートを残部も含めすべて封筒に入れてください。
- 9 提出期限：**3月18日(火) 16:00 厳守**でお願いします。
- 10 提出場所：徳島キャンパス 1号館1F教育・研究支援グループのメールボックス
またはメディアセンター6F（薬学部は学部事務室）
香川キャンパス 各学部事務室
- 11 何かご不明な点がありましたら下記までご連絡ください。
徳島キャンパス橋本（内線：8664）
香川キャンパス半田（内線：7552）

FD 研究部会活動報告書 第 5 号

平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

平成 26 年 6 月発行

編 集	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 FD 研究部会		
発 行	徳島文理大学		
	徳島キャンパス	〒770-8514	徳島県徳島市山城町西浜傍示 180 電話：088-602-8000(代表)
	香川キャンパス	〒769-2193	香川県さぬき市志度 1314-1 電話：087-894-5111(代表)
